

令和7年度 第3回 浜名小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1 開催日時 令和7年12月12日（金）（13時40分から14時00分まで授業参観）
14時00分から15時40分まで

2 開催場所 浜名小学校 多目的室

3 出席委員 加藤弘明、平野岳子、野末将平、高林 正
森上彩加、石井大三、片桐光一、町田幹子

4 欠席委員 渡辺東作

5 オブザーバー 中道三枝子、松島一博、内山益巳

6 学校支援コーディネーター
金子まなみ、渡邊涼子

7 学 校 河合勝之（校長）、伊藤 充（教頭）、湯川靖彦（主幹教諭）
霜田直美（CS ディレクター）

8 教育委員会 欠席

9 傍 聴 者 0名

10 会議録作成者 CS ディレクター 霜田直美

11 議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長を議長に推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

（1）校長先生より時代背景と教育の変遷について

（2）議題と課題

①「学校評価アンケート」、「いじめ認知・体罰等調査結果」、「前回協議について」

②「校訓」についてと「来年度に向けて」

（3）部別協議

課題検討部（加藤、平野、金子、校長）

地域体験部（野末、高林、石井、渡邊、主幹教諭）

学校支援部（町田、片桐、森上、内山、松島、中道、教頭、CS ディレクター）

（4）各部報告・全体協議

13 会議記録

会長から委員総数9名のうち8名の出席があり、過半数に達するため会議が成立している旨の報告があった。

（1）前回協議より、服装について、スカートからズボンに変更のお試し期間が実施され、来年度への本格実施に向け検証ができた。

いじめの報告、認知件数、対応中、解消件数の報告、体罰やセクハラ、不適切な言動についての報告が行われた。

(2) 学校評価アンケートについて

委員が実際にアンケートに回答し、記入しにくい設問についての意見が出された。

- ・夢→保護者・地域の方は、浜名小の出身である事を誇りに思っている方が多い。家庭で、親が引き出すことは難しいけれど、どんな大人になりたいと聞き方を変えてみたり、企画委員の子とテーマを決めて話し合ってみたりするのもいいのでは。

(森上、内山、松島)

- ・伝える力→大人でも難しい。道德の時間や大人との話し合いの機会を作ってみてはどうだろう。グループワークの形も良い。

(内山、松島、森上)

(3) 部別協議

(4) 各部報告・全体会議

○課題検討部

- ・協議会の持ち方→教員の話聞く機会が大切ではないか、児童の委員会の委員長が協議会に参加など。
- ・アンケートについて→14の表記「学校は」を「私は」に変えたらどうか。
- ・校訓→いい事では、地域性がすごく出ているので子供たちに考えさせる。質問力という点で疑問を持つ事が大切。

○地域体験部

- ・接点の持ち方→先生が日替わりで来て悩みを言ってもらったり昔のアドバイスをしてもらったりはどうだろう、
- ・校訓→作らなくていいのでは。
- ・顔見知りになる→安パトさんに来てもらって教えてもらうのはどうだろう。

○学校支援部

- ・協議会の持ち方→4・5月頃に先生の会を早めにやりたい。子供たちが意見を言えるかわからないけれど試してみても良いのでは、その時にはグループワークがいいねという案が出た。
- ・顔や活動を知ってもらう→PTA 総会に出て保護者にアピールする。

(5) 全体協議

- ・来年度、PTA 総会に運営協議会委員会が参加し活動を伝える時間を確保することが承認された。
- ・価値観の違い、熱量の違いなどあるが、子供は保護者が参加してくれると喜ぶ。そういう機会が作れるように協議会でアイデアを考えていく。

14 その他

- ・ボランティアは時間が空いたときなどに進んで参加してくれている。参加者の様子を数値で表し、参加してみようという思いをもたせる工夫氏をしていく。
- ・次回、第4回の会議は、2月10日(火)に開催する予定。